

特定外来生物セアカゴケグモの発見について

9月19日（金）に加賀市内において特定外来生物のセアカゴケグモのメス2匹が発見されました（すべて駆除済み）。

セアカゴケグモのメスは毒を持っていますが、その習性はおとなしく、素手でつかんだり、クモの巣に触れたりしない限り咬まれることはありません。発見した際は触れたりしないよう、ご注意ください。

1 発見について

- （1）発見日時：令和7年9月19日（金） 15時頃
- （2）発見個体：セアカゴケグモのメス2匹
- （3）発見場所：石川県加賀市内 ※すべて駆除済み
- （4）直近の発見例：加賀市内の同一場所 令和7年8月1日（金）

2 セアカゴケグモについて

（1）特徴

- ・ 毒を持っているのは、メスのみ
- ・ メスは約7～10mmで全体に黒色を呈し、背中及び腹部には、赤い模様あり
- ・ オスは約5mmで、茶褐色

（2）生息場所

生息場所は、日当たりの良い場所にある構造物の隙間や側溝に営巣していることが多いとされている。

（3）駆除方法

直接踏みつぶすか、家庭用殺虫剤を直接吹きかけ、駆除。

（4）咬まれた場合の症状

針で刺されたような痛みがある（すぐに痛みを感じないこともある）。その後、咬まれた場所が腫れたり、痛みが全身に広がり、発汗や吐き気を起こすことがある。通常は数時間から数日で症状は軽減する。ただし、小児や高齢者では、まれに重症化することがある。

※詳しくは、自然環境課のホームページを参照してください。

(<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/gairaishu/seaka.html>)

※写真データを提供します。必要な社はお尋ねください。

請求先：自然環境課自然共生グループ 外線 076-225-1477/内線 4266

セアカゴケグモ（原産国：オーストラリア）



<特 徴>

- ・メスは、約7～10mmで、全体に黒色を呈し、背中及び腹部には赤い模様あり（毒あり）
→ 上記写真
- ・オスは、約5mmで、茶褐色（毒なし）

<咬まれた場合の症状>

- ・針で刺されたような痛みがあり、発汗や吐き気を起こすことがある。
- ・通常は、数時間から数日で症状は軽減する。
- ・小児や高齢者は、まれに重症化することがある。
（国内での死亡例なし。）